

1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立西備支援学校	実践者名	永瀬 裕記
実践場面 (教科、領域、行事等)	生活単元学習		
単元・題材名	野菜を育てよう		
学習目標・ねらい	・ 野菜の成長に関心を持つ。 ・ iPad を使って、観察ポスターを作ることができる。		
対象の児童 生徒の実態	・ 知的障害部門中学部2年生5名 ・ 今までに、アプリ「Pages」を使って、自己紹介のポスターを作ったことがある。 ・ 手本を見ながら、かな入力ができる生徒がいる。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
【実践で使った機器・アプリ等】 機器：iPad・TV・Apple TV、アプリ：「カメラ」・「Pages」 (1) 個々の iPad で、自分の育てている枝豆の写真を撮る。			
(2) 観察する。 ・ 本物の野菜を見たり、撮った写真をテレビに写して見たりして、「気づいたこと」を確認する。その時、「葉の形は?」「豆はできている?」等と着目するポイントを尋ねたり、そのポイントの部分をテレビに拡大して写したりして、観察できるようにする。			
(3) 「pages」を使って、観察ポスターを作る。 ・ 撮った写真を貼り付ける。 ・ 「自分の名前・野菜の名前・気づいたこと」をかな入力でタイピングしていく。			
(4) テレビに写して、発表する。			
活用のポイント・改善策等			
・ 事前に、「Pages」のシンプルなポスターのフォーマットを作成しておき、個々の iPad に、Air Drop で送信した。 ・ タイピングしやすいように、個々に「自分の名前・野菜の名前・気づいたこと」が記入されたシートを用意した。 ・ タイピング（かな入力）は、濁点の文字を打つのが難しい生徒が多いため、「課題別学習」の時間等を使って、練習をしていく。あわせて、アプリの中で、写真の貼り付けや、文字を入力する場所を変える方法が難しく、支援が多く必要だったため、操作の仕方が分かる練習の時間を取るようにする。			